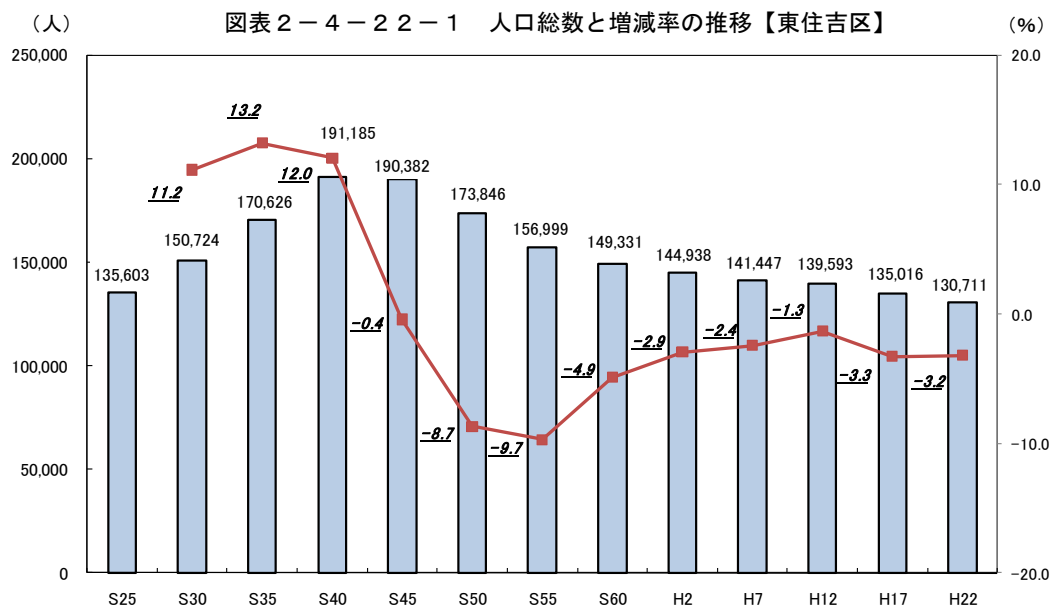


## < 2 2 > 東住吉区

### 1. 人口の推移

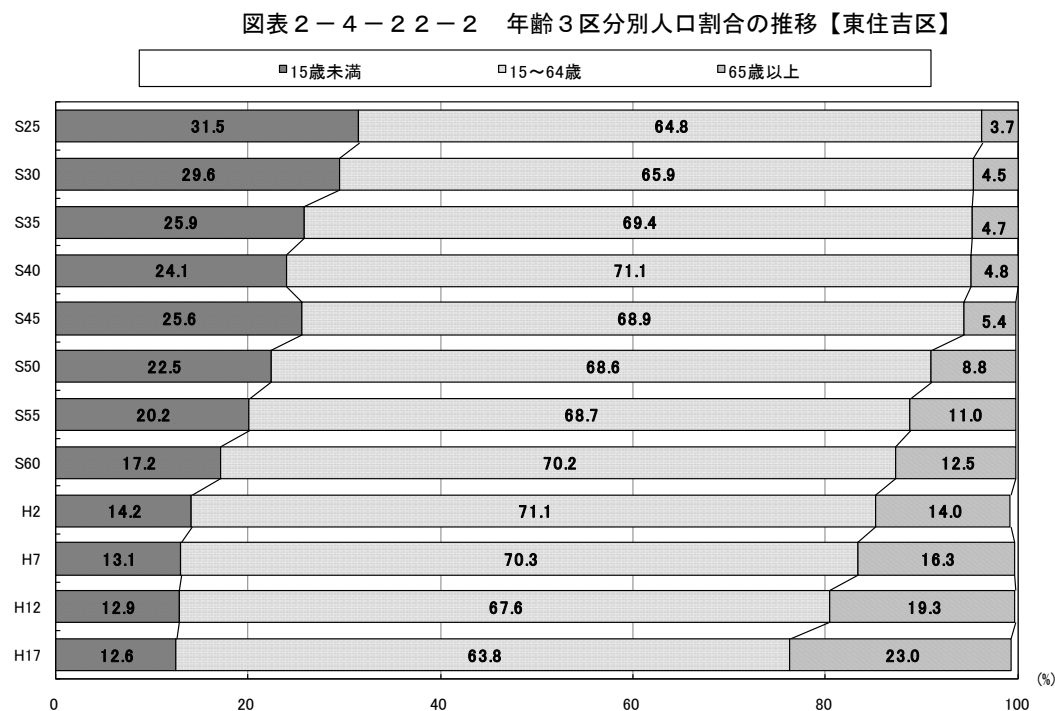
・昭和40年から一貫して減少し、平成22年はピーク時の約7割にまで減少している。



※昭和49年に東住吉区から平野区が分区した。資料：国勢調査 ※H22は速報値  
それ以前の数値は分区後の区域で遡及して集計した数値である。

### 2. 年齢3区分別人口割合の推移

・老年人口割合が大幅に上昇し、平成17年では24区中4番目に老年人口割合が高い。



※昭和49年に東住吉区から平野区が分区した。それ以前の数値は分区後の区域で遡及して集計した数値である。

資料：国勢調査  
注：年齢「不詳」を含むため、合計値が100%にならない場合がある。

### 3. 自然動態

・平成9年に自然減少に転じ、以降は減少幅が拡大傾向となっている。

図表2-4-22-3 出生・死亡・自然増減数の推移【東住吉区】

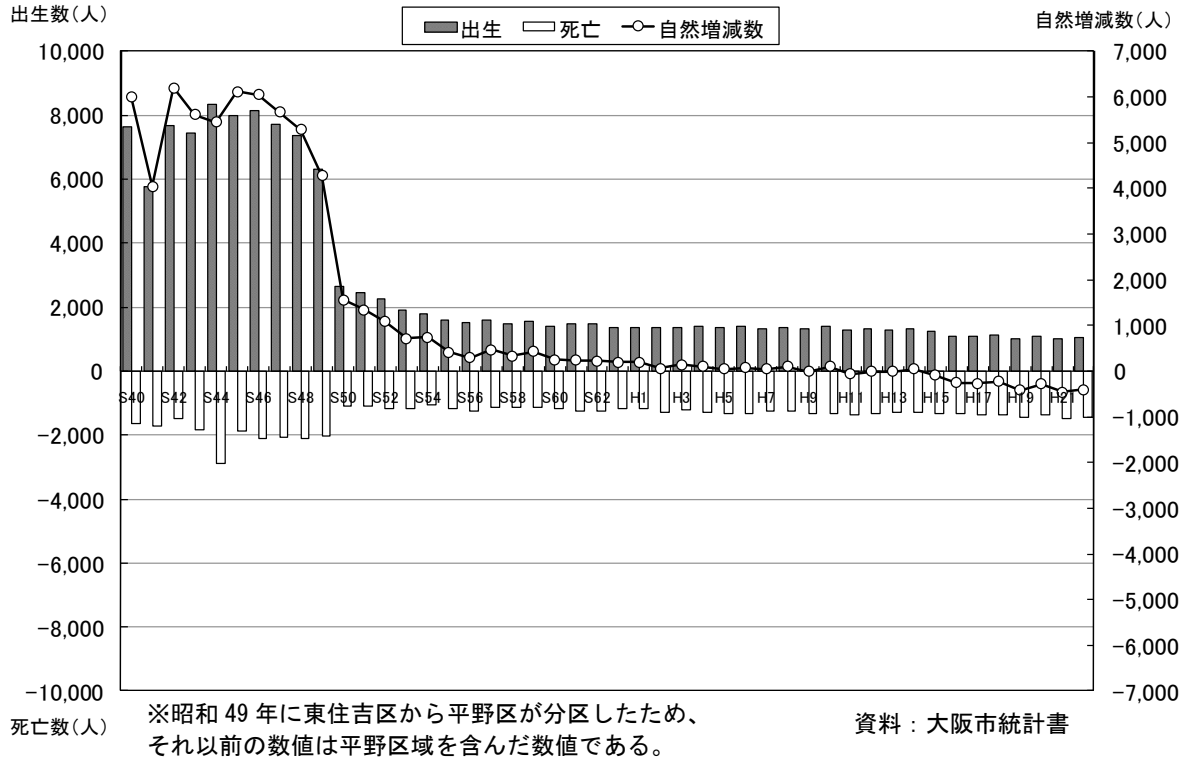


図2-4-22-4 出生・死亡・自然増減数の推移【東住吉区】

	出生数	死亡数	自然増減数		出生数	死亡数	自然増減数
昭和40年	7,637	1,625	6,012	昭和63年	1,382	1,187	195
昭和41年	5,771	1,719	4,052	平成元年	1,365	1,163	202
昭和42年	7,696	1,500	6,196	平成2年	1,354	1,294	60
昭和43年	7,459	1,838	5,621	平成3年	1,368	1,228	140
昭和44年	8,348	2,902	5,446	平成4年	1,401	1,298	103
昭和45年	8,002	1,879	6,123	平成5年	1,365	1,312	53
昭和46年	8,158	2,106	6,052	平成6年	1,408	1,332	76
昭和47年	7,715	2,048	5,667	平成7年	1,312	1,261	51
昭和48年	7,367	2,086	5,281	平成8年	1,362	1,259	103
昭和49年	6,317	2,042	4,275	平成9年	1,317	1,324	△7
昭和50年	2,656	1,093	1,563	平成10年	1,412	1,309	103
昭和51年	2,447	1,107	1,340	平成11年	1,297	1,352	△55
昭和52年	2,250	1,159	1,091	平成12年	1,327	1,334	△7
昭和53年	1,900	1,188	712	平成13年	1,279	1,292	△13
昭和54年	1,781	1,043	738	平成14年	1,324	1,270	54
昭和55年	1,590	1,177	413	平成15年	1,229	1,311	△82
昭和56年	1,537	1,250	287	平成16年	1,090	1,338	△248
昭和57年	1,583	1,118	465	平成17年	1,087	1,348	△261
昭和58年	1,465	1,136	329	平成18年	1,130	1,353	△223
昭和59年	1,563	1,129	434	平成19年	1,024	1,434	△410
昭和60年	1,415	1,166	249	平成20年	1,077	1,362	△285
昭和61年	1,477	1,239	238	平成21年	1,013	1,467	△454
昭和62年	1,487	1,256	231	平成22年	1,050	1,448	△398

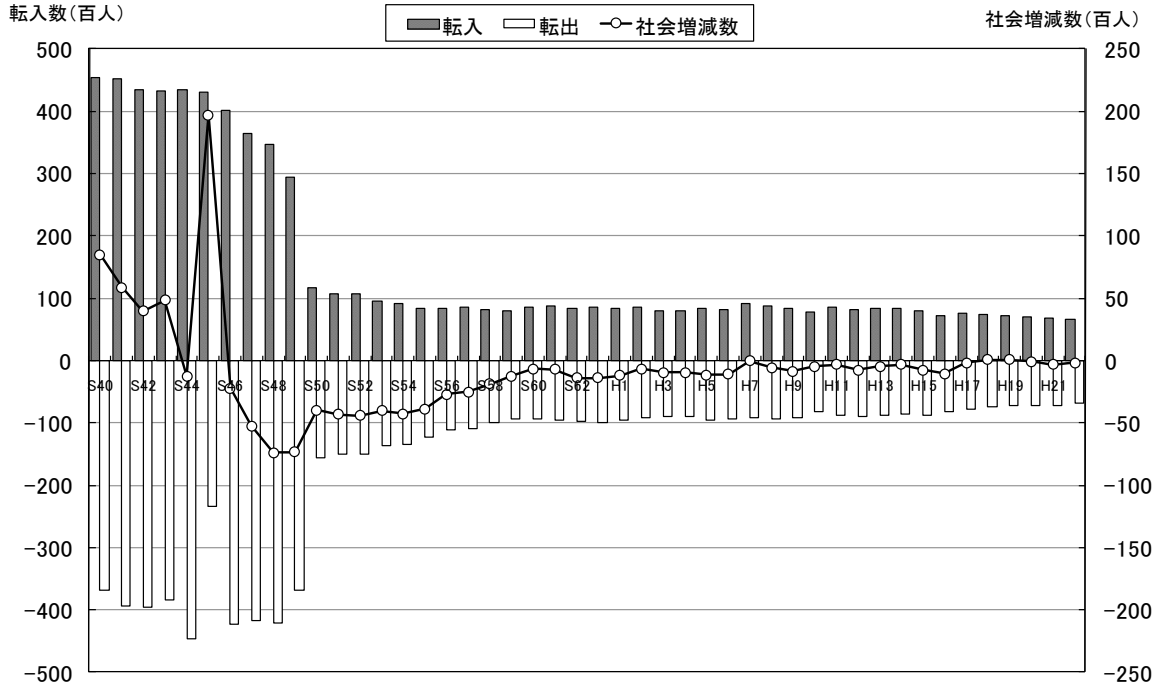
※昭和49年に東住吉区から平野区が分区したため、それ以前の数値は平野区域を含んだ数値である。

資料：大阪市統計書

#### 4. 社会動態

・社会減少が続いたが、その幅は縮小傾向となる、平成18年には社会増加に転じたが、平成20年に再び社会減少となった。

図表 2-4-22-5 転入・転出・社会増減数の推移【東住吉区】



転出数(百人) ※昭和49年に東住吉区から平野区が分区したため、それ以前の数値は平野区域を含んだ数値である。

資料：大阪市統計書

図 2-4-22-6 転入・転出・社会増減数の推移【東住吉区】

	転入数	転出数	社会増減数		転入数	転出数	社会増減数
昭和40年	45,398	36,918	8,480	昭和63年	8,550	9,944	△1,394
昭和41年	45,267	39,373	5,894	平成元年	8,454	9,624	△1,170
昭和42年	43,508	39,551	3,957	平成2年	8,560	9,228	△668
昭和43年	43,196	38,346	4,850	平成3年	8,060	9,012	△952
昭和44年	43,437	44,670	△1,233	平成4年	8,048	9,022	△974
昭和45年	43,069	23,355	19,714	平成5年	8,426	9,583	△1,157
昭和46年	40,065	42,306	△2,241	平成6年	8,219	9,327	△1,108
昭和47年	36,426	41,689	△5,263	平成7年	9,206	9,214	△8
昭和48年	34,685	42,090	△7,405	平成8年	8,845	9,429	△584
昭和49年	29,526	36,841	△7,315	平成9年	8,393	9,231	△838
昭和50年	11,633	15,603	△3,970	平成10年	7,802	8,272	△470
昭和51年	10,740	15,075	△4,335	平成11年	8,545	8,866	△321
昭和52年	10,631	15,060	△4,429	平成12年	8,265	9,043	△778
昭和53年	9,609	13,625	△4,016	平成13年	8,367	8,824	△457
昭和54年	9,093	13,364	△4,271	平成14年	8,316	8,647	△331
昭和55年	8,445	12,295	△3,850	平成15年	7,959	8,726	△767
昭和56年	8,445	11,136	△2,691	平成16年	7,124	8,166	△1,042
昭和57年	8,516	11,003	△2,487	平成17年	7,527	7,715	△188
昭和58年	8,115	9,976	△1,861	平成18年	7,457	7,396	61
昭和59年	8,054	9,309	△1,255	平成19年	7,299	7,243	56
昭和60年	8,655	9,327	△672	平成20年	7,066	7,157	△91
昭和61年	8,753	9,464	△711	平成21年	6,851	7,161	△310
昭和62年	8,393	9,800	△1,407	平成22年	6,725	6,883	△158

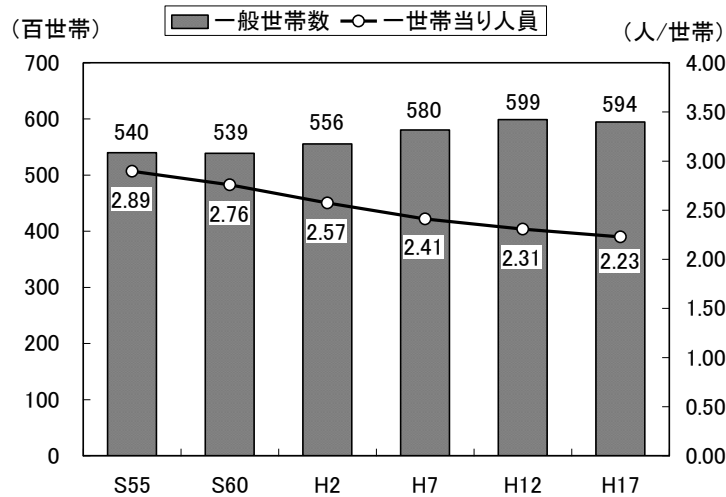
※昭和49年に東住吉区から平野区が分区したため、それ以前の数値は平野区域を含んだ数値である。

資料：大阪市統計書

## 5. 一般世帯数と一世帯当り人員数

・世帯数は平成17年に減少に転じた。一世帯当り人員は市全体の水準を上回り、平成17年は2.23人となっている。

図表2-4-22-7 一般世帯数と一世帯当り人員の推移【東住吉区】



		S55	S60	H2	H7	H12	H17
東住吉区	一般世帯数	53,982	53,881	55,553	58,024	59,868	59,439
	一世帯当り人員	2.89	2.76	2.57	2.41	2.31	2.23
大阪市	一世帯当り人員	2.83	2.71	2.53	2.36	2.22	2.12

単位：一般世帯数（人） 一世帯当り人員（人/世帯）

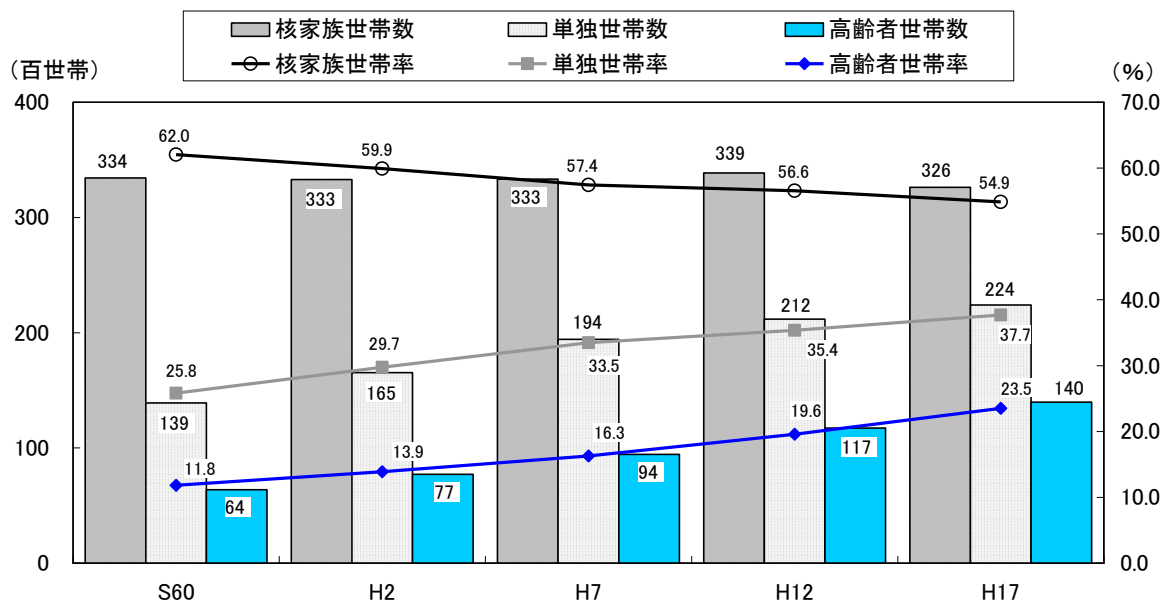
資料：国勢調査

※S55は普通世帯、S60以降は一般世帯

## 6. 世帯の状況

・核家族世帯数はほぼ横ばい。単独世帯数および高齢者世帯数は増加傾向にある。

図表2-4-22-8 核家族世帯・単独世帯・高齢者世帯の推移【東住吉区】

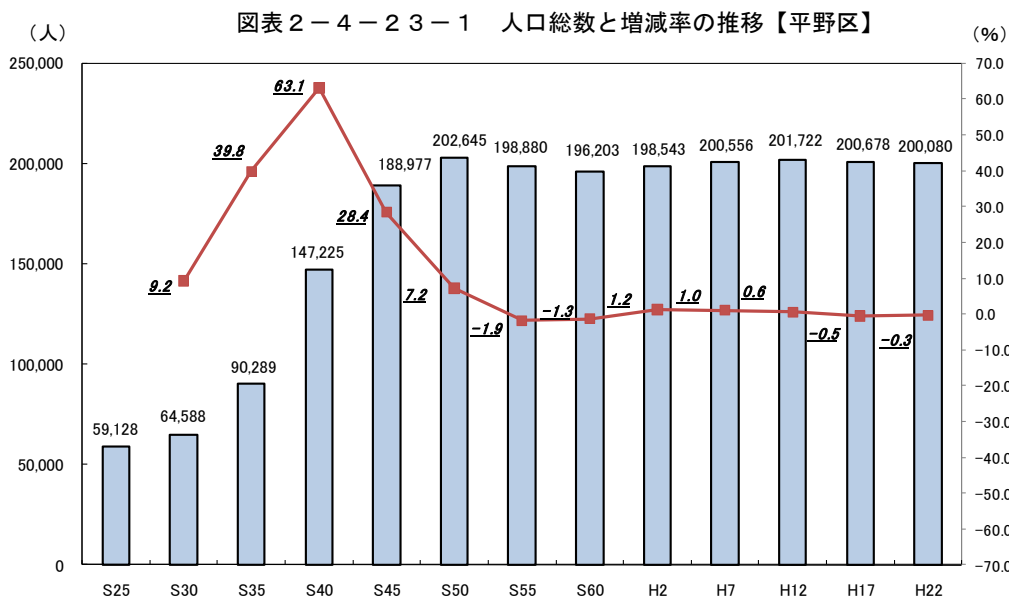


資料：国勢調査

## < 2 3 > 平野区

### 1. 人口の推移

・昭和50年に20万人を超え、以降は若干増減あるものの、ほぼ横ばいで推移している。



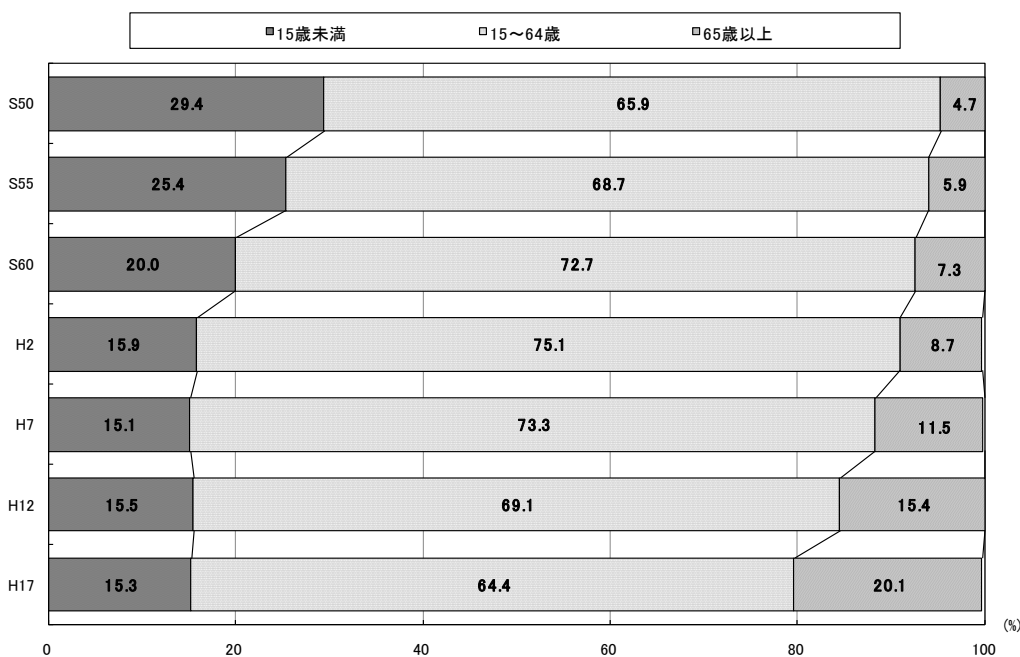
※平野区は昭和49年に東住吉区より区分しているため、それ以前の数値は区分後の区域で遡及して集計した数値である。

資料：国勢調査 ※H22は速報値

### 2. 年齢3区分別人口割合の推移

・年少人口割合は市全体の水準を大幅に上回って推移しており、平成17年には24区中2番目に高い区となっている。

図表 2-4-23-2 年齢3区分別人口割合の推移【平野区】



※平野区は昭和49年に東住吉区から区分したため、それ以前の年齢3区分別のデータは存在しない。

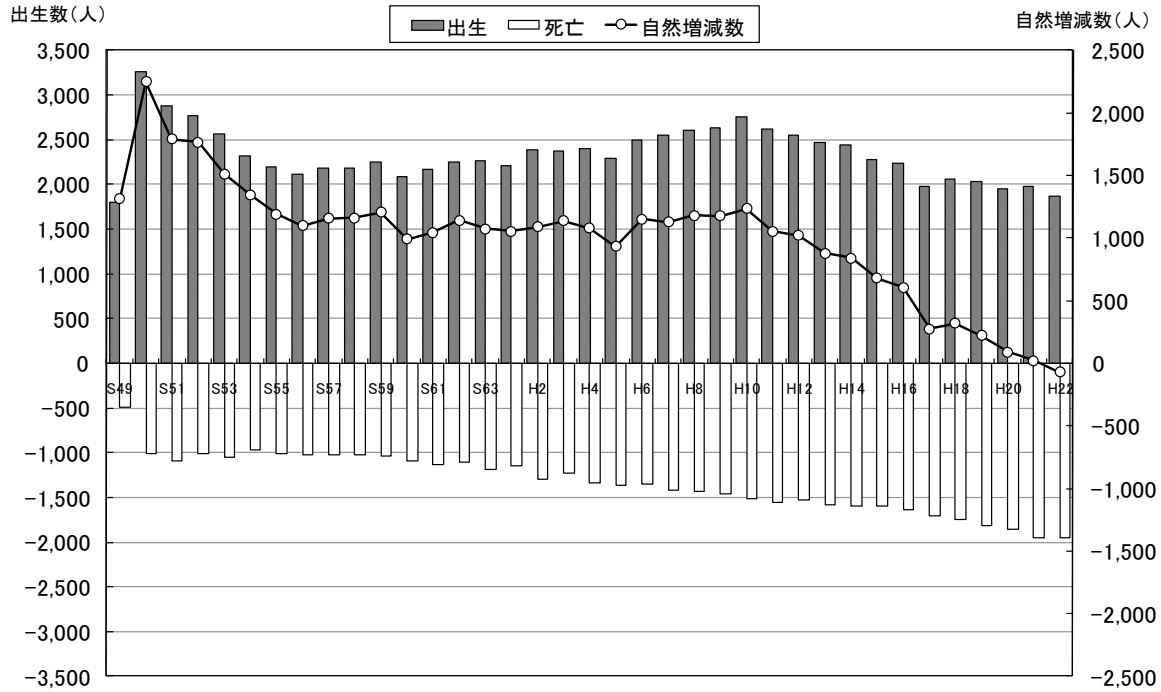
資料：国勢調査

注：年齢「不詳」を含むため、合計値が100%にならない場合がある。

### 3. 自然動態

・平成10年頃まで1,000人以上の自然増加数。以降は減少傾向となり、平成22年に自然減少に転じた。

図表2-4-23-3 出生・死亡・自然増減数の推移【平野区】



死亡数(人) ※平野区は昭和49年に東住吉区から分区したため、それ以前のデータは存在しない。

資料：大阪市統計書

図表2-4-23-4 出生・死亡・自然増減数の推移【平野区】

	出生数	死亡数	自然増減数		出生数	死亡数	自然増減数
昭和49年	1,805	486	1,319	平成5年	2,291	1,358	933
昭和50年	3,263	1,012	2,251	平成6年	2,498	1,345	1,153
昭和51年	2,877	1,087	1,790	平成7年	2,551	1,422	1,129
昭和52年	2,776	1,009	1,767	平成8年	2,609	1,429	1,180
昭和53年	2,559	1,045	1,514	平成9年	2,635	1,460	1,175
昭和54年	2,320	973	1,347	平成10年	2,753	1,516	1,237
昭和55年	2,199	1,009	1,190	平成11年	2,617	1,562	1,055
昭和56年	2,119	1,021	1,098	平成12年	2,551	1,532	1,019
昭和57年	2,186	1,029	1,157	平成13年	2,468	1,586	882
昭和58年	2,187	1,027	1,160	平成14年	2,439	1,597	842
昭和59年	2,247	1,042	1,205	平成15年	2,275	1,593	682
昭和60年	2,086	1,095	991	平成16年	2,241	1,634	607
昭和61年	2,169	1,126	1,043	平成17年	1,975	1,702	273
昭和62年	2,248	1,107	1,141	平成18年	2,062	1,745	317
昭和63年	2,262	1,188	1,074	平成19年	2,032	1,808	224
平成元年	2,204	1,148	1,056	平成20年	1,951	1,860	91
平成2年	2,385	1,296	1,089	平成21年	1,972	1,950	22
平成3年	2,371	1,233	1,138	平成22年	1,876	1,948	△72
平成4年	2,408	1,331	1,077				

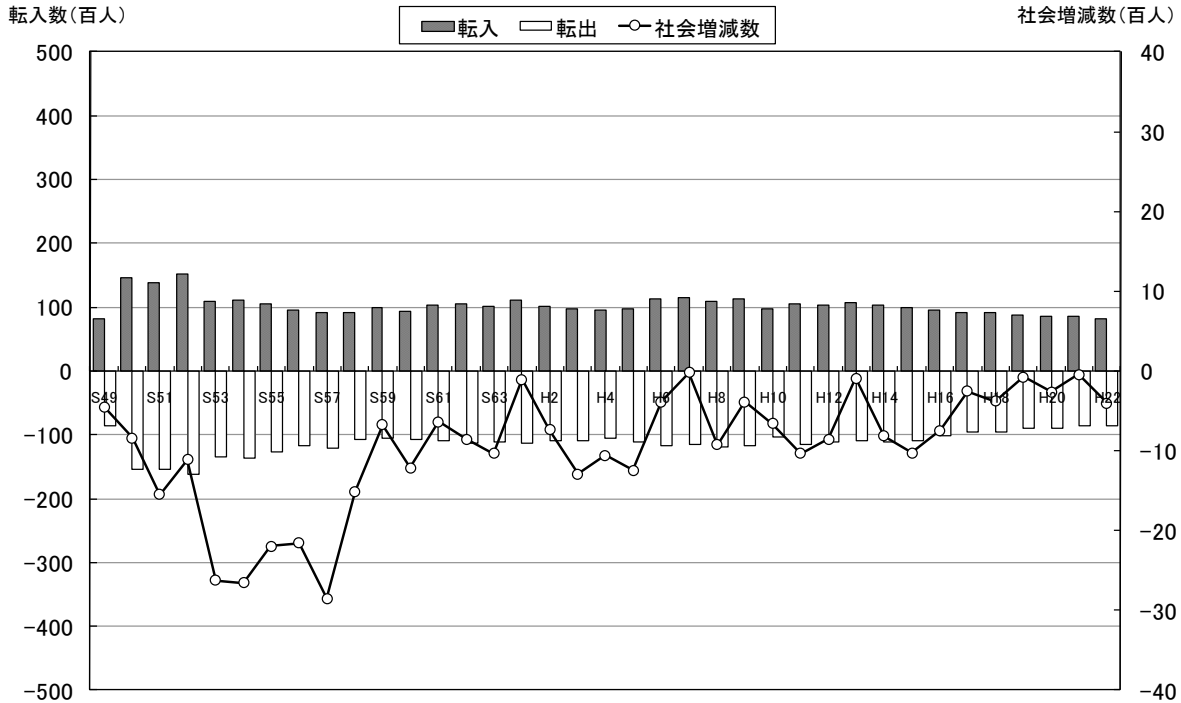
資料：大阪市統計書

※平野区は昭和49年に東住吉区から分区したため、それ以前のデータは存在しない。

#### 4. 社会動態

・昭和49年以降、一貫して社会減少が続いているが、減少幅は縮小傾向にある。

図表2-4-23-5 転入・転出・社会増減数の推移【平野区】



※平野区は昭和49年に東住吉区から分区したため、それ以前のデータは存在しない。

資料：大阪市統計書

図2-4-23-6 転入・転出・社会増減数の推移【平野区】

	転入数	転出数	社会増減数		転入数	転出数	社会増減数
昭和49年	8,135	8,582	△447	平成5年	9,808	11,049	△1,241
昭和50年	14,637	15,479	△842	平成6年	11,254	11,638	△384
昭和51年	13,794	15,345	△1,551	平成7年	11,451	11,469	△18
昭和52年	15,165	16,276	△1,111	平成8年	10,989	11,916	△927
昭和53年	10,861	13,487	△2,626	平成9年	11,251	11,637	△386
昭和54年	11,063	13,721	△2,658	平成10年	9,699	10,358	△659
昭和55年	10,461	12,655	△2,194	平成11年	10,501	11,532	△1,031
昭和56年	9,630	11,789	△2,159	平成12年	10,273	11,125	△852
昭和57年	9,178	12,031	△2,853	平成13年	10,758	10,848	△90
昭和58年	9,241	10,749	△1,508	平成14年	10,249	11,062	△813
昭和59年	9,876	10,547	△671	平成15年	9,902	10,931	△1,029
昭和60年	9,439	10,655	△1,216	平成16年	9,468	10,209	△741
昭和61年	10,333	10,970	△637	平成17年	9,224	9,474	△250
昭和62年	10,539	11,389	△850	平成18年	9,149	9,530	△381
昭和63年	10,128	11,165	△1,037	平成19年	8,828	8,905	△77
平成元年	11,152	11,259	△107	平成20年	8,674	8,936	△262
平成2年	10,148	10,881	△733	平成21年	8,604	8,648	△44
平成3年	9,669	10,962	△1,293	平成22年	8,261	8,662	△401
平成4年	9,557	10,614	△1,057				

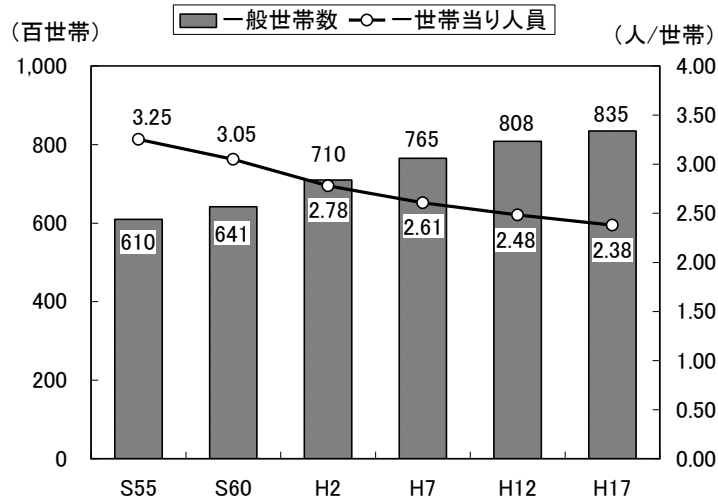
※平野区は昭和49年に東住吉区から分区したため、それ以前のデータは存在しない。

資料：大阪市統計書

## 5. 一般世帯数と一世帯当り人員数

・世帯数は昭和55年以降増加。一世帯当り人員は市全体を大幅に上回って推移している。

図表2-4-23-7 一般世帯数と一世帯当り人員の推移【平野区】



		S55	S60	H2	H7	H12	H17
平野区	一般世帯数	60,964	64,125	70,963	76,476	80,789	83,455
	一世帯当り人員	3.25	3.05	2.78	2.61	2.48	2.38
大阪市	一世帯当り人員	2.83	2.71	2.53	2.36	2.22	2.12

単位：一般世帯数（人） 一世帯当り人員（人/世帯）

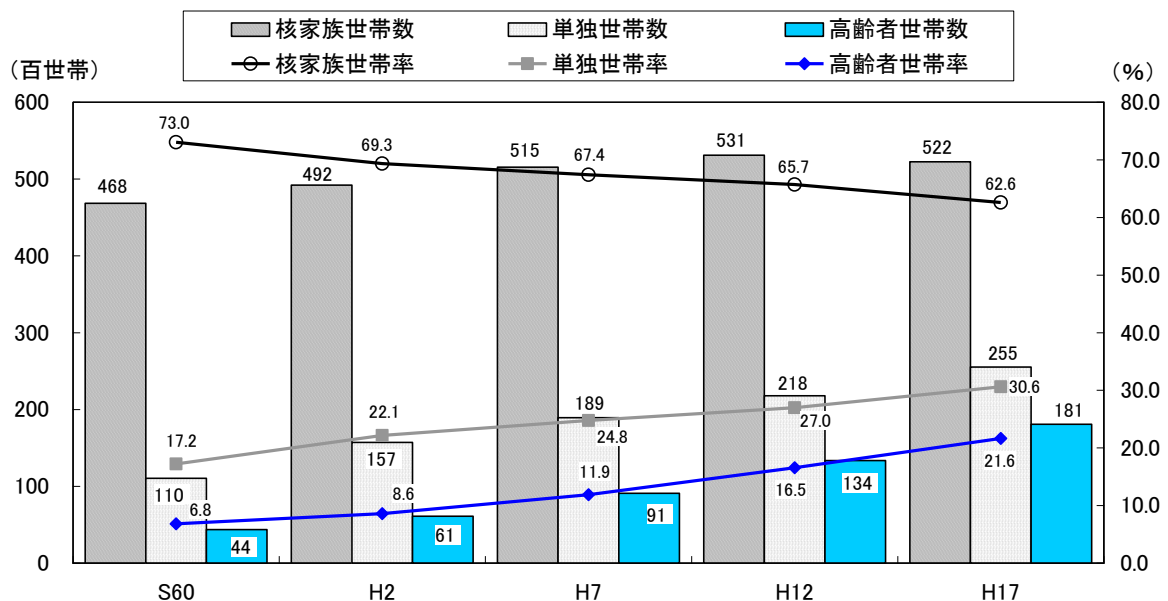
資料：国勢調査

※S55は普通世帯、S60以降は一般世帯

## 6. 世帯の状況

・核家族世帯数は平成17年に減少。単独世帯数及び高齢者世帯数は増加傾向にある。

図表2-4-23-8 核家族世帯・単独世帯・高齢者世帯の推移【平野区】



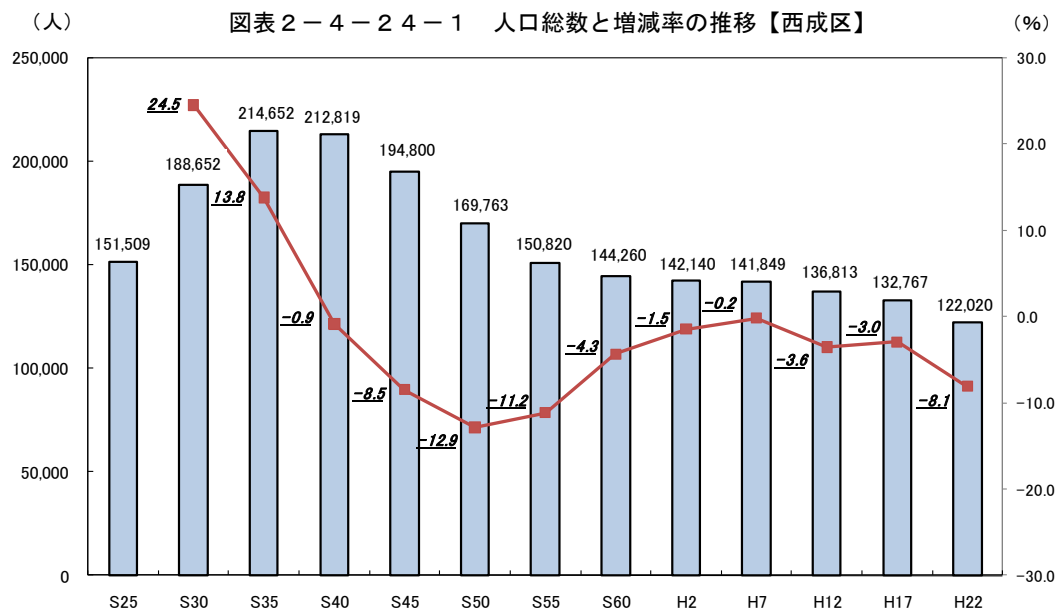
資料：国勢調査



## < 2 4 > 西成区

### 1. 人口の推移

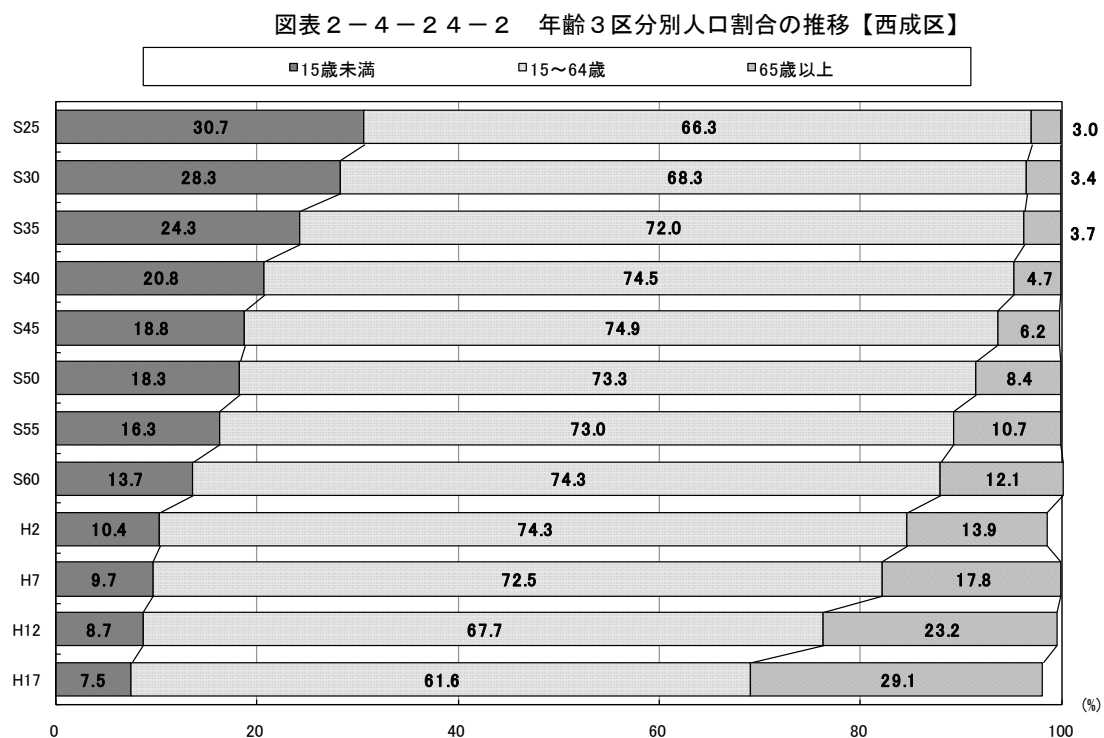
・昭和 35 年に 20 万超。以後、一貫して減少が続き、平成 22 年では減少幅が拡大した。



資料：国勢調査 ※H22 は速報値

### 2. 年齢 3 区分別人口割合の推移

・年少人口割合は低下が顕著で、平成 17 年には 24 区中 2 番目に低い区となっている。対して、老年人口割合は急激に上昇しており、平成 17 年では 24 区中最も高い区となっている。



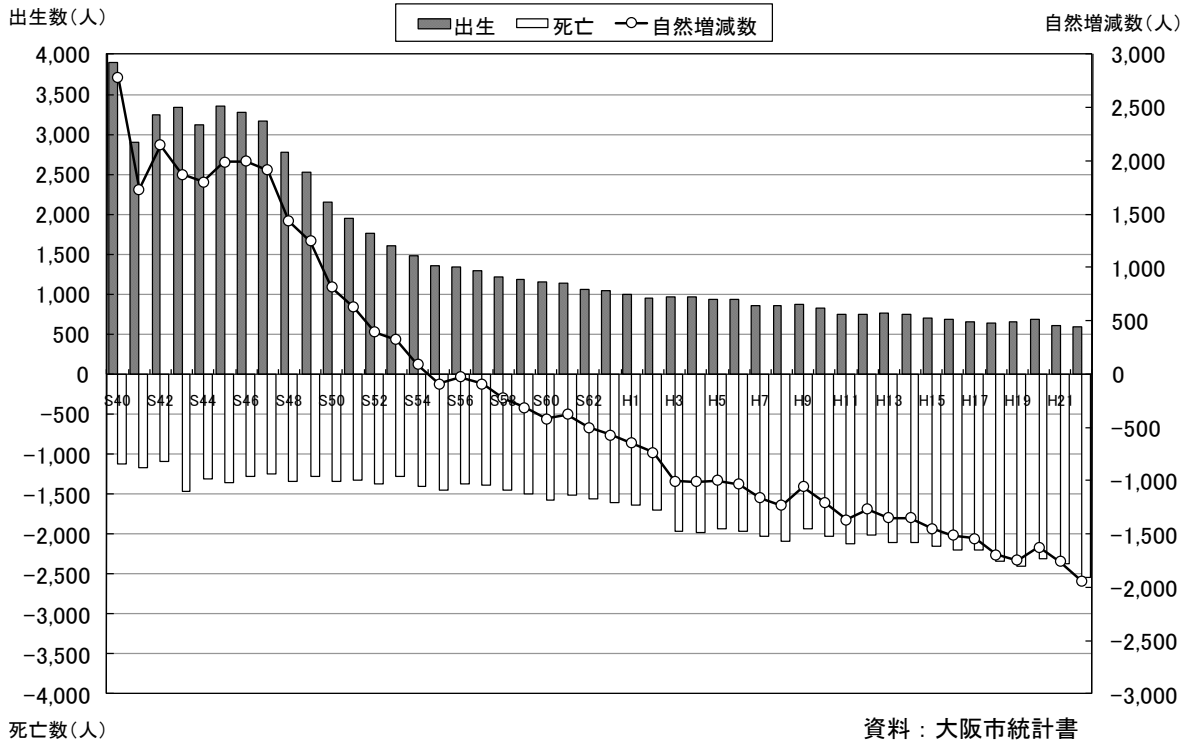
資料：国勢調査

注：年齢「不詳」を含むため、合計値が 100%にならない場合がある。

### 3. 自然動態

・昭和55年に自然減少に転じ、減少幅の拡大が続く。他区と比べ死亡数が突出して多い。

図表2-4-24-3 出生・死亡・自然増減数の推移【西成区】



図表2-4-24-4 出生・死亡・自然増減数の推移【西成区】

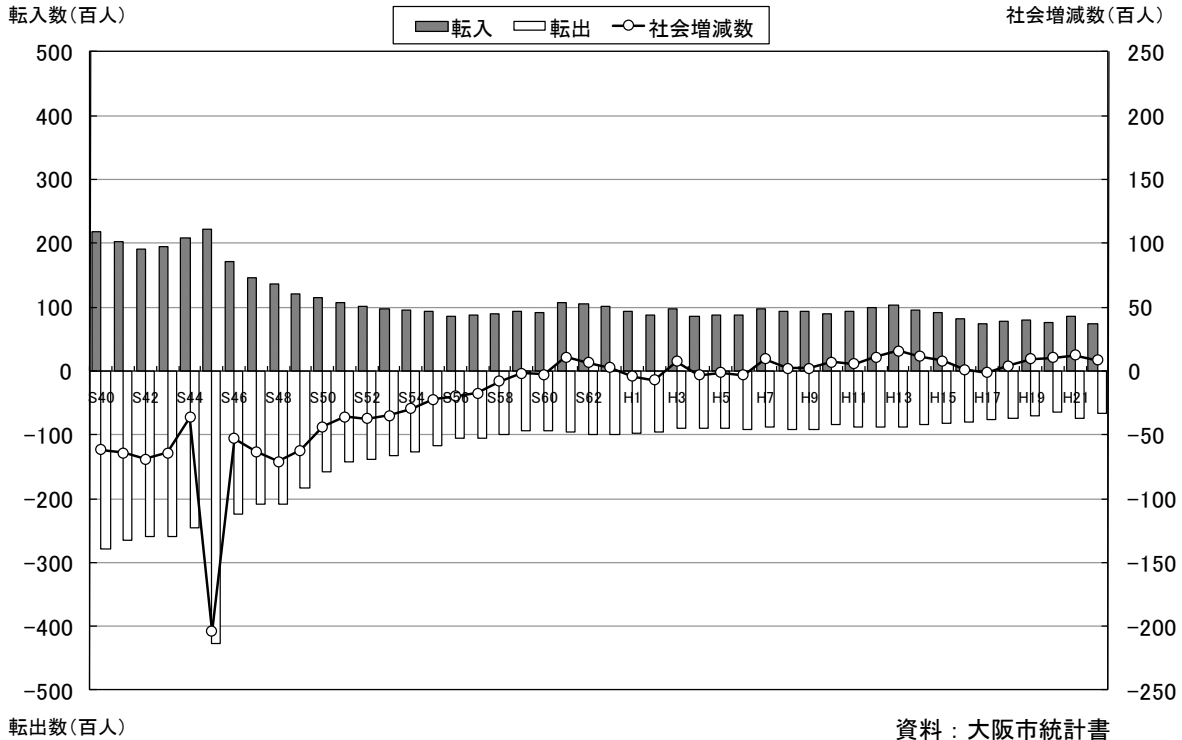
	出生数	死亡数	自然増減数		出生数	死亡数	自然増減数
昭和40年	3,904	1,120	2,784	昭和63年	1,042	1,614	△572
昭和41年	2,902	1,167	1,735	平成元年	991	1,638	△647
昭和42年	3,246	1,096	2,150	平成2年	959	1,695	△736
昭和43年	3,340	1,466	1,874	平成3年	967	1,968	△1,001
昭和44年	3,115	1,310	1,805	平成4年	963	1,973	△1,010
昭和45年	3,354	1,360	1,994	平成5年	937	1,937	△1,000
昭和46年	3,271	1,275	1,996	平成6年	934	1,965	△1,031
昭和47年	3,167	1,251	1,916	平成7年	862	2,025	△1,163
昭和48年	2,777	1,341	1,436	平成8年	861	2,094	△1,233
昭和49年	2,530	1,281	1,249	平成9年	871	1,929	△1,058
昭和50年	2,153	1,337	816	平成10年	829	2,028	△1,199
昭和51年	1,949	1,322	627	平成11年	752	2,117	△1,365
昭和52年	1,759	1,367	392	平成12年	748	2,012	△1,264
昭和53年	1,607	1,285	322	平成13年	758	2,107	△1,349
昭和54年	1,489	1,398	91	平成14年	749	2,098	△1,349
昭和55年	1,351	1,443	△92	平成15年	700	2,146	△1,446
昭和56年	1,348	1,374	△26	平成16年	682	2,194	△1,512
昭和57年	1,289	1,381	△92	平成17年	656	2,197	△1,541
昭和58年	1,224	1,448	△224	平成18年	643	2,338	△1,695
昭和59年	1,189	1,502	△313	平成19年	649	2,396	△1,747
昭和60年	1,155	1,574	△419	平成20年	686	2,306	△1,620
昭和61年	1,137	1,515	△378	平成21年	611	2,366	△1,755
昭和62年	1,063	1,562	△499	平成22年	600	2,541	△1,941

資料：大阪市統計書

#### 4. 社会動態

・昭和61年に社会増加に転じる。以降、増減繰り返し、平成7年からは概ね社会増加で推移している。

図表 2-4-24-5 転入・転出・社会増減数の推移【西成区】



資料：大阪市統計書

図 2-4-24-5 転入・転出・社会増減数の推移【西成区】

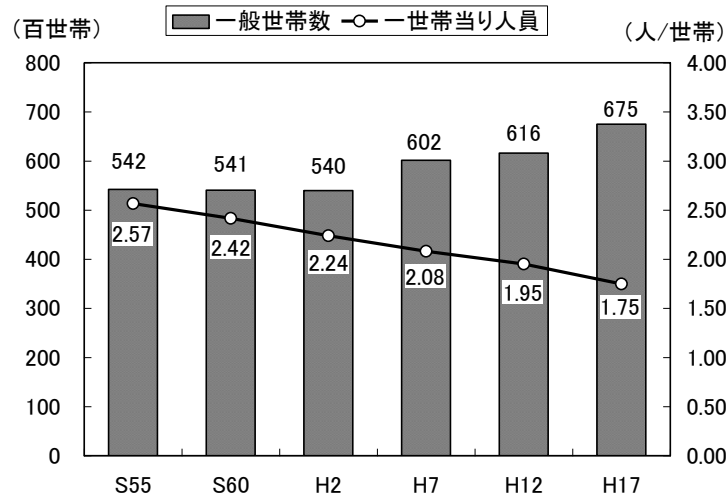
	転入数	転出数	社会増減数		転入数	転出数	社会増減数
昭和40年	21,781	27,960	△6,179	昭和63年	10,231	9,986	245
昭和41年	20,198	26,589	△6,391	平成元年	9,282	9,700	△418
昭和42年	19,006	25,919	△6,913	平成2年	8,851	9,577	△726
昭和43年	19,522	25,949	△6,427	平成3年	9,736	8,977	759
昭和44年	20,898	24,537	△3,639	平成4年	8,599	8,913	△314
昭和45年	22,245	42,620	△20,375	平成5年	8,837	8,959	△122
昭和46年	17,074	22,381	△5,307	平成6年	8,823	9,127	△304
昭和47年	14,658	20,946	△6,288	平成7年	9,751	8,822	929
昭和48年	13,742	20,811	△7,069	平成8年	9,392	9,171	221
昭和49年	12,145	18,371	△6,226	平成9年	9,352	9,109	243
昭和50年	11,411	15,761	△4,350	平成10年	9,051	8,345	706
昭和51年	10,736	14,310	△3,574	平成11年	9,392	8,851	541
昭和52年	10,119	13,855	△3,736	平成12年	9,922	8,822	1,100
昭和53年	9,754	13,240	△3,486	平成13年	10,392	8,815	1,577
昭和54年	9,615	12,581	△2,966	平成14年	9,621	8,469	1,152
昭和55年	9,399	11,634	△2,235	平成15年	9,080	8,281	799
昭和56年	8,529	10,512	△1,983	平成16年	8,158	8,020	138
昭和57年	8,787	10,532	△1,745	平成17年	7,475	7,610	△135
昭和58年	9,064	9,877	△813	平成18年	7,731	7,329	402
昭和59年	9,283	9,447	△164	平成19年	7,925	6,997	928
昭和60年	9,115	9,375	△260	平成20年	7,584	6,519	1,065
昭和61年	10,663	9,571	1,092	平成21年	8,672	7,437	1,235
昭和62年	10,573	9,939	634	平成22年	7,470	6,620	850

資料：大阪市統計書

## 5. 一般世帯数と一世帯当り人員数

・世帯数は平成7年に増加に転じる。一世帯当り人員は市全体の水準を大幅に下回って推移している。

図表2-4-24-7 一般世帯数と一世帯当り人員の推移【西成区】



		S55	S60	H2	H7	H12	H17
西成区	一般世帯数	54,225	54,060	53,965	60,161	61,599	67,489
	一世帯当り人員	2.57	2.42	2.24	2.08	1.95	1.75
大阪市	一世帯当り人員	2.83	2.71	2.53	2.36	2.22	2.12

単位：一般世帯数（人） 一世帯当り人員（人/世帯）

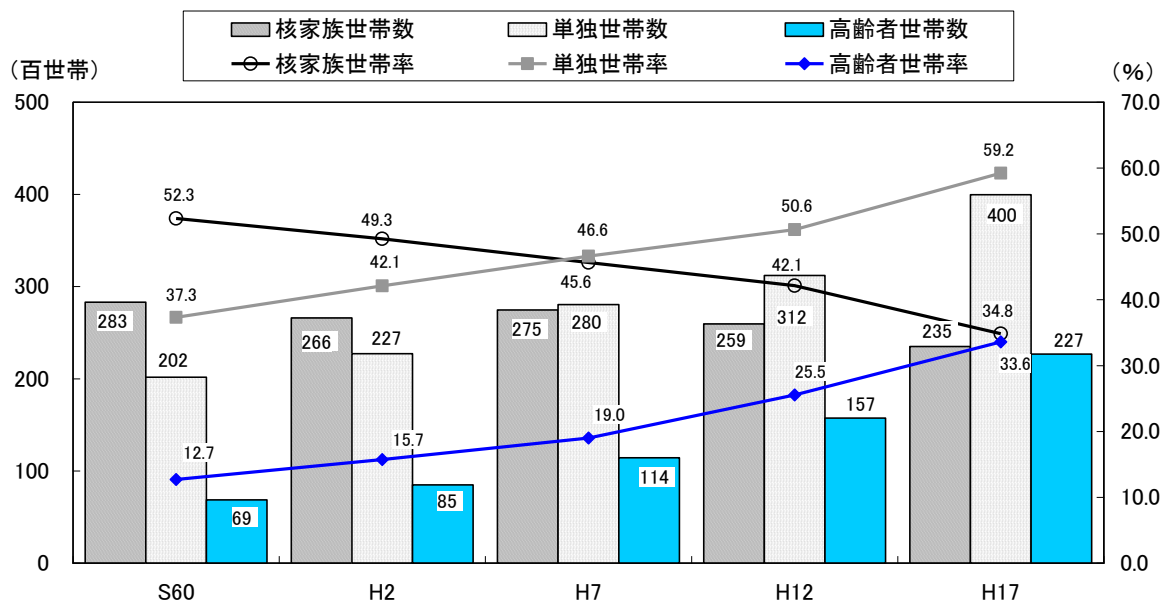
資料：国勢調査

※S55は普通世帯、S60以降は一般世帯

## 6. 世帯の状況

・核家族世帯数は平成7年を境に減少。単独世帯数及び高齢者世帯数は大幅な増加傾向となっている。

図表2-4-24-8 核家族世帯・単独世帯・高齢者世帯の推移【西成区】



資料：国勢調査